

第4試合LIEBE栃木 5 $\begin{pmatrix} 1 & 1Q & 0 \\ 3 & 2Q & 0 \\ 1 & 3Q & 0 \\ 0 & 4Q & 0 \end{pmatrix}$ 0 駿河台大学

得点	LIEBE栃木→9分高橋、24分村田、26分永吉、28分加藤、36分篠崎
	駿河台大学→
戦評	<p>駿河台のセンターパスにより試合が開始された。第1Qは駿河台が格上のL栃木に対して自陣で人数を掛けて守り込み、終始L栃木のペースで試合が進んだ。何度もチャンスを掴むL栃木は、9分右サイドからのセンタリングをを#12高橋がゴール前できっちり合わせて先制する。その後もL栃木が試合を支配する展開が続くが、それを駿河台DF陣が最小失点で切り抜けた。第2QもL栃木のペースで試合は進み、テンポの速いパスを繋げ、24分、26分、28分と高精度のシュートを次々と決め、点差を広げた。第3Qは駿河台のDF力が光り、勢いのあるL栃木のサークルインやシュートを頑なに防いだ。対するL栃木は数少ないチャンスからPCをとり、一点をもぎ取り、5-0とさらに点差を広げた。終始L栃木の果敢な攻めが続く。サークルインの回数は多い一方、守備的な駿河台に対しシュートまで持ち込めない展開が続いた。第4Qは得点がないまま終了し、社会人王者のL栃木が駿河台を圧倒して5-0で勝利を収め準決勝に進出した。</p>